家庭ごみの正しい分け方・出し方

よくある間違いと、よくある問い合わせ。

平成17年12月から、ごみの分け方と出し方が変わりましたが、一部では、まだ間違った出し方が見られます。間違いには、収集時にシールをはって指導の徹底を図っていきます。

今回は、よくある間違いと、よくある問い合わせについて掲載しましたのでご確認ください。

よくある間違い

基本的なことでは、ごみを出す曜日の間違いがあります。

①多くの地域で「びん」と「かん、ペットボトル」を出す曜日が異なります。

②新たに「草木」の収集を追加したことで、全地域において、「もやさないごみ・有害危険ごみ」を出す日が変わっています。

詳しくは、環境政策課☎951-3231、またはクリーン推進課☎889-3567に問い合わせるか、平成17年12月発行の「家庭ごみの正しい分け方・出し方」の地域別収集曜日一覧をご確認ください。

もやすごみ

×ペットボトルが入っている。

○ペットボトルは資源化物として分別して、決められた日に出す。

草・木

×①中が見えない不透明袋で出されている。

×②枝などをしばらないまま出されている。

×③草木と一緒に異物が入っている。

×④6袋または、6束を超えて出されている。

○透明の袋を使用するか、枝などは1m程度の長さでしばる。異物は入れない。6袋か6束以内で出す。

かん・びん・ペットボトル

×①ペットボトルやびんのキャップ（ふた）が付いたまま、または、中身が入ったまま出されている。

×②かん・びん・ペットボトルをまとめて一つの袋で出されている。

○キャップ（ふた）は、必ずはずし、中を軽くすすぐ。ペットボトルはつぶして、かん、びんと別々の袋に分別して出す。

もやさないごみ

×「もやさないごみ」として、プラスチックや、ゴム、皮革製品、かん、びん、ペットボトルが混ざって出されている。

○プラスチック、ゴム、皮革製品は、「もやすごみ」。かん、びん、ペットボトルは資源化物として出す。

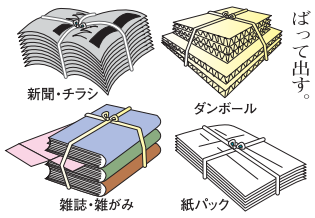
紙・布

×①新聞紙や雑誌、ダンボールなどが混ざって出されている。

×②ひもの代わりにガムテープで巻いて出されている。

×③袋で出されている。

○新聞紙、ダンボール、雑誌・雑がみ、紙パックは、それぞれ分けて、ひもでしばって出す。



よくある問い合わせQ&A

Q 発泡スチロールはなにごみ？

A 「もやすごみ」です。

Q 台所で使うアルミホイルや、レンジ周りのアルミカバーはなにごみ？

A 「もやすごみ」です。

Q もやさないごみの指定袋をもやすごみの袋として出せるの？

A もやさないごみの指定袋が大量に残っている方のために、今年の3月末日まで、もやさないごみ袋を、もやすごみ袋として代用できるようにしています。

「ワンは悪くない…

捨て犬・放し飼いはやめましょう

市では、市内を巡回して徘徊（はいかい）犬の捕獲を行っています。

捕獲された犬は、沖縄県動物愛護センターに搬入されます。捕獲された犬を、引き取る際には、ペナルティとして、返還手数料を徴収されます。悪質な場合は、狂犬病予防法によって処罰されることもあります。

引き取り手のない犬は、時間が経過すれば、処分されることになります。県内でも毎年、多くの犬が処分されている悲しい現状があります。

ペットは、大切な家族の一員として、最後まで愛情と責任を持って飼うようにしましょう。

ペットのトイレマナー

「街を歩いていると、犬のフンの多さにいやな気分になる。景観を楽しみたいのにやたら下（足もとのフン）を気にしなくてはならなくて残念だ。公園も同様。芝生にもフンがあるので座れない。犬が悪いのではない。飼い主のマナー一つである」

これは、市民の方から寄せられた市長への手紙の一部です。このような、フン害への苦情は絶えることがありません。

若狭海浜公園で行われたフン害パトロール

捨て犬だけでなく、朝夕、トイレ目的の犬の放し飼いもよく見受けられます。

また、放し飼いや捨てられた犬が通学途中の児童を威嚇（いかく）したり、実際にかみつくという事故もあり、安全であるべき市民生活に不安を与えています。

表1を見ると、沖縄県では、犬の登録頭数に対して、捕獲される犬の頭数が非常に多いことが分かります。

表1 徘徊犬の捕獲状況県別ワースト順
（厚生労働省統計平成16年度　単位:頭）

順位	県名	捕獲された犬	登録頭数
1位	沖縄県	5,807	60,462
2位	千葉県	5,640	308,347
47位	富山県	298	49,576
那覇市		478	9,367

特に、他府県から転入された方の中には、この上なく不快な思いをされている方もいるでしょう。

心無い一部の飼い主のために、多くの愛犬家にとっても、大いに迷惑な話です。

みんなが一緒に気持ちよく暮らすためには、散歩時のフンの始末など、飼い主一人ひとりの心がけが重要です。

狂犬病予防接種を受けましょう

狂犬病は、人を含めた全てのほ乳類に感染し、発病するとほぼ100%死亡する恐ろしい病気です。国内では撲滅されたと言われていますが、外国では現在も発生しており、国際化の時代、日本に再上陸しないという保証はありません。

表2 狂犬病予防注射率
（厚生労働省統計平成16年度）

順位	県名	注射率
1位	長野県	95.3%
47位	沖縄県	52.5%
全国平均		75.1%
那覇市		60.1%

表2のとおり、沖縄県の狂犬病予防注射率は毎年、全国最低を記録しています。全国平均と比べてみても那覇市の予防注射率は約15%も下回っています。

犬の飼い主の責任として、登録して飼い、年一度の狂犬病予防注射は必ず受けましょう。

犬や猫など、ペットは、人の心をいやし喜びをもたらしてくれる存在です。動物と人が、共に楽しく暮らせるまちづくりをみんなで考えていきましょう。

お問い合わせ　環境保全課　☎951-3229

「2月は省エネ月間」です。人のいない部屋は電気を消しましょう。できることから省エネを！☎951-3231 環境政策課